

乳児期の全身湿疹と夜間の強いかゆみを経て治療を続けた乳児アトピーの経過 (1歳8か月 男児)

症例 ID：001-01-OK | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

生後1か月頃から顔に赤い発疹が出て、5か月頃には顔、手足、耳後部に症状が広がりました。

卵白への反応を指摘され、除去食、保湿剤、抗ヒスタミン剤を含む外用薬、弱いステロイド外用を行いました。全身へ広がりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	保湿剤、抗ヒスタミン剤を含む外用薬、弱いステロイド外用薬を使用しました。
製品名	製品名は不明です。
強度	弱い外用薬と説明されました。
使用期間	生後6～7か月頃から使用しました。
中止時期	松本医院受診前後です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後1か月頃	発症	顔に赤い発疹が出始めました。
生後5か月頃	範囲拡大	顔、足趾、手指、耳後部に症状が広がりました。
生後6～7か月頃	外用開始	保湿剤と弱いステロイド外用薬を使用しました。
その後	全身化	背中、腹部を含む全身へ症状が広がりました。
松本医院受診後	治療開始	煎じ薬、入浴、外用処置を開始しました。
1歳8か月時	経過中	治療を継続していました。

4. ピーク時期

ピークは、乳児期に顔、手足、耳後部から全身へ湿疹が広がり、夜中に何度も目を覚ました時期です。

5. 困りごと

- 夜間にかゆみで何度も目を覚ました。
- 全身へ症状が広がり、家族が食事や外用方法を調整する負担がありました。

6. 経過のまとめ

乳児期から全身へ広がる症状があり、ステロイド外用を中止して治療を開始しました。

1歳8か月時点では治療を継続している段階でした。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。